

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路橋りょう費事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	08	02	01	02	01
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	道路管理課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	鈴木 和男				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市が管理する道路及び橋りょう等が適切に機能できるように事務管理する。	意図	道路及び橋りょう等の機能を維持し、社会インフラも管理する。
事業内容	・道路及び橋りょう等の維持・管理・運営に必要な事務用機器及び消耗品、PCソフト、使用料等を適正に処理する。			
事業開始から現在までの状況変化	・道路法に基づく適正管理。 ・旧来の里道（赤道）が国有から市へ譲渡されたことに伴い、法定外公共物として道路法に準じた管理をしている。TX関連整備事業の進展とも併せ、ライフライン関連の占用物件の許認可事務が増加している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標で表すことができない定性的な成果	・上半期と下半期に分け、道路上での工事について、ライフライン事業者と調整会議を実施している。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・企業者間の工事工程を調整することにより、道路上での工事期間の短縮や繰り返し工事を削減するよう努めている。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,223,214	5,141,522	5,157,728			
事業費(b)(円)		7,083,474	5,003,322	5,007,128			
うち一般財源		7,083,474	5,003,322	5,007,128			
職員給与費(c)(円)		139,740	138,200	150,600			
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	・占用料条例の改正に伴う占用物件管理システムを更新する。
今年度(H27)に実施した取組	・占用物件管理システムを条例の施行に合わせて遅滞なく機能するように準備を進めた。

取組の課題	・平成9年度に施行された占用料条例の改正を早期に実施する必要がある。
今後の改善計画	・条例改正に必要な手続きを進める。 ・占用管理システムソフトを精査し、条例改正に支障のないよう準備を進める。